

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 形山

作成日: 令和 5 年 4 月 10 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	コロナ禍の中での開設であったため、地域との関係作りはこれからである。コロナ収束後には、自治会に加入し、地域の情報を把握して関わることの出来そうな活動や行事には参加し、少しずつ交流を図っていく。	回覧板や自治会会長、民生・児童委員等、地域の方から情報を集め、地域の行事や活動にできるところから参加して顔を覚えてもらい、気軽に相談が寄せられるような開かれたホームを目指していく。	12ヶ月
2	5	運営推進会議を活かした取り組み	コロナ禍の為、書面での報告が主となっている。コロナ収束後の再開に備えて各委員との関係を継続し、参加委員の増員を図り、ホームの運営だけでなく、地域の課題にも一緒に取り組んでいけるような会議を目指していく。	コロナ収束後には、元家族や地域住民、他グループホーム管理者等、委員の増員を図り、テーマを決めてミニ勉強会を行ったり、レクリエーションを一緒に行う等して関係を深め、多様な意見や提案が集まる活発な会議運営に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。